

令和5年度全国学力・学習状況調査結果分析と改善方策（宇佐市）

平均正答率（％） ※大分県・全国は公立の平均正答率。

【小学校】

小学校 6 年生		
	国語	算数
宇佐市	68	63
大分県（公立）	69	64
全国（公立）	67.2	62.5

【中学校】

中学校 3 年生			
	国語	数学	英語
宇佐市	69	46	40
大分県（公立）	69	49	41
全国（公立）	69.8	51	45.6

1. 教科ごとの結果分析と改善方策

小学校 国語

	全体	学習指導要領の内容				
		言葉の特徴や 使い方に関する 事項	情報の扱い方 に関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
宇佐市	68	70.5	62.4	76.8	28.0	73.0
大分県	69	71.6	63.2	76.0	28.3	72.9
全国	67.2	71.2	63.4	72.6	26.7	71.2

○教科全体は、全国値を上回っている。

○内容別で、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」は、全国値を上回っている。

△内容別で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」は、全国値をやや下回っている。

○**大問3二** 「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」【話すこと・聞くこと】（思考・判断・表現）は、全国値を大きく上回っている。

△**大問1三（1）** 「漢字を文の中で正しく使うことができる」【言葉の特徴や使い方に関する事項】（知識・技能）は、全国値を下回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問1三（1） 下線部のひらがな（きかんは、7月1日から15日まで）を漢字に書き直す問題。

・学年別配当漢字表に示されている漢字を文の中で、正しく使えていないことに課題がある。

大問2三 資料から得た情報をどのように整理して説明しているかを選ぶ問題。

・情報と情報の関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、説明していることが捉えられていないことに課題がある。



○漢字の書き取り学習だけでなく、漢字の意味や文章中での使い方にも関連させながら、学習していくことが重要。

・漢字クイズに取り組んだり、ICT教材を活用して学習を進めたりする。また、長期記憶につなげるために、読書活動の充実も考えられる。

○文章の中から、重要な言葉を選び、その言葉の関係性を見つけていくことが重要。

・文章中に用いられている言葉から、その言葉が図のどの部分と結びつくのかを明らかにした上で、その言葉の関係性を見つけたり、見つけた関係性に見出しを付けるなどしてまとめたりする場面を設定する。

小学校 算数

	全体	学習指導要領の領域			
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用
宇佐市	63	67.8	47.6	70.5	66.8
大分県	64	68.5	51.0	71.1	67.5
全 国	62.5	67.3	48.2	70.9	65.5

○教科全体は、全国値を上回っている。

○領域別で、「数と計算」、「データの活用」は、全国値を上回っている。

△領域別で「図形」、「変化と関係」は、全国値をやや下回っている。

○大問4(3) 「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて書く」【データの活用】(思考・判断・表現)は、全国値を上回っている。

△大問2(3) 「正三角形の意味や性質について理解している」【図形】(知識・技能)は、全国値を下回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問2(3) 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切る時の一つの角の大きさを書く問題。

- ・図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えてその図形の性質を理解し、必要な角を求めることに課題がある。

大問4(1) 示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ問題。

- ・様々な基準量と比較量から、共通した割合を見つけ出すことに課題がある。



○図形の構成の意味や性質といった知識を身に付けるだけでなく、それらを活用して算数的活動を展開することが重要。

- ・ICT 機器を活用して視覚化したり、図形の特徴を生かした操作活動等の場面を仕組んだりする。

○ある一つの基準量と比較量から求めた割合だけでなく、複数の図や表を活用し、それらの基準量や比較量から、割合を求めることが重要。

- ・複数の図や表から割合を求め、その中から共通点や相違点を見つけ、説明する場面を設定する。

中学校 国語

	全体	学習指導要領の内容					
		言葉の特徴 や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	我が国の言 語文化に関 する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
宇佐市	69	68.6	60.4	77.4	81.7	59.9	63.0
大分県	69	65.2	62.6	76.4	81.4	60.1	62.2
全 国	69.8	67.5	63.4	74.7	82.2	63.2	63.7

○教科全体は、全国値と同等程度である。

○内容別では、「言葉の特徴や使いに関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」においては、全国値を上回っている。

△内容別の「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」は、全国値を下回っている。

○大問4一 「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」【我が国の言語文化に関する事項】(知識・技能)は、全国値を上回っている。

△大問3一 「叙述の仕方などを確かめて、文章を整えて書く」【書くこと】(思考・判断・表現)は、全国値を下回っている。

△大問3三 「具体と抽象など情報と情報の関係について理解する」【情報の扱い方に関する事項】(知識・技能)は、全国値を下回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問3一 レポートの下書きの一部について、文の一部を書き直す問題。

- ・読み手の立場になって、語句の用法や叙述の仕方確かめながら、その意図を捉えることに課題がある。

大問3三 見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分け、後半の内容に見出しをつける問題。

- ・内容のまとまりについて、二つに分けることはできているが、内容に合う見出しを書くことに課題がある。



○伝えようとする事実や事柄、意見などが十分に書き表されているかを検討するとともに、根拠を明確に持ち、読み手の視点を与えながら、伝えようとするものが伝えきれているかどうかを確かめていくことが重要。

- ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める場面と比喻や反復、倒置、体言止めなどの表現方法について理解する場面を関連させながら、推敲する学習活動を仕組んでいく。

○読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章が他者にどう読まれるかを自覚し、具体的な視点を得ていきながら、文章のよい点と改善点を見いだすことが重要。

- ・生徒同士で互いの文章を読み合ったり、読み手として想定している人に読んでもらったりして助言をもらいながら、意見と根拠の関係を明確にするには、根拠をどこにどのように示すとよいかを視点にした学習活動を仕組んでいく。その際、読み手は、書き手の目的と意図を理解した上で、単なる印象ではなく、具体的な記述を取り上げて助言するよう指導していく。

中学校 数学

	全体	学習指導要領の領域			
		数と式	図形	関数	データの活用
宇佐市	46	59.0	26.3	47.3	41.9
大分県	49	60.8	28.7	50.4	48.3
全国	51	63.0	33.2	51.2	48.5

△教科全体・領域別は、全国値を下回っている。

△大問7(1) 「四分位範囲を求める」【データの活用】(知識・技能)は、全国値を下回っている。

△大問9(1) 「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する」【図形】(思考・判断・表現)は、全国値を下回っている。

△大問9(2) 「条件を変えた場合に事柄が成り立たない理由を証明する」【図形】(知識・技能)は、全国値を下回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問7(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求める問題。

- ・四分位範囲の必要性や意味、さらに四分位範囲を求めることに課題がある。

大問9(1) 2つの直線が平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを証明する問題。

- ・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にして、それらを確認説明することに課題がある。

大問9(2) 二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに、平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなることを読み取る問題。

- ・図形の性質を考察する場面において、問題解決の過程や結果を振り返り、評価・改善することに課題がある。



○四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解させるとともに、四分位範囲を求めたり箱ひげ図で表したりして複数の集団のデータの傾向を比較して読み取り、その結果を基に説明するという一連の活動を経験させることが重要。

- ・生徒に身近な題材(例:体力テストの結果等)を問題として取り上げ、それらを解決するために必要なデータを収集・整理し、そのデータの傾向を読み取ったり考察したりする数学的活動を、単元を通して仕組んでいく。

○同じ条件を満たす全ての図形について、既習の性質などが常に成り立つことを明らかにするために証明が必要であることなど、証明の必要性や意味及びその方法について理解させることが重要。

- ・三角形や平行四辺形の性質の証明の学習において、証明を書くこととともに証明を読むことの活動も同時に仕組んでいく。その際、証明に用いた前提や証明の根拠を明らかにしながら、結論を整理するなどして、証明を振り返る活動も充実させていく。

中学校 英語

	全体	学習指導要領の領域		
		聞くこと	読むこと	書くこと
宇佐市	40	54.0	45.9	17.4
大分県	41	53.3	47.5	19.1
全国	45.6	58.4	51.2	23.4

△教科全体・領域別は、全国値を下回っている。

△大問5(2) 「事実・情報を伝える、考えや意図を伝えるという言葉の働きを理解し、事実と考えを区別する」【読むこと】(知識・技能)は、全国値より下回っている。

△大問7(1) 「文と文との関係を正確に読みとる」【読むこと】(知識・技能)は全国値より下回っている。

△大問9(1) 「未来表現の肯定文を書く」【書くこと】(知識・技能)は全国値より下回っている。

改善方策等

○問題の内容

大問5(2) 事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する問題。

- ・事実、情報を伝えるための正確で客観的な表現や考えや意図を伝えるための相手の感情や気持ちに配慮した表現等を理解して英文を読み取ることに課題がある。

大問7(1) 図書館について書かれた英文を読み、文章の概要を捉え、文中の空所に入る適切な語句を選択する問題。

- ・問題となる前の文章を受けて、問題の後ろの文章が具体的な情報を表しているという関係性を読み取れていないことに課題がある。

大問9(1) 与えられた英語を適切な形に変える問題。

- ・会話の流れから肯定文を書くことは理解しているが、基本的な語や文法等を理解して文を書くことに課題がある。



○事実や情報を伝える働きのある表現例や考えや意図を伝える表現例を示しながら学習活動を展開していくことが重要。

- ・事実や情報を伝える表現例(説明する、報告する、発表する、描写するを表す表現等)と考えや意図を伝える表現例(申し出る、約束する、意見を言う、賛成する、反対する、断る、仮定するを表す表現等)を関連させながら、各領域において関連性を図りながら学習場面を仕組んでいく。

○一文ずつ解決しながら全体の理解につなげるボトムアップの読み方ではなく、文章全体を読んで大切な部分を捉えさせる読み方を指導することが重要。

- ・各パラグラフ内の構造を捉えさせながら、読む目的に応じて要点を把握させるとともに、書き手が最も伝えたいことは何かを判断していく学習活動を展開していく。

○音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用していくことが重要。

- ・会話の流れから、どのような動詞の時制を使うかを判断し、その表現方法を適切に活用できるように指導していく。

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果(児童・生徒質問紙)

【小学校 児童質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	67.6	57.8	59.3
2	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	81.4	77.2	77.9
3	国語の勉強は好きですか。	68.5	61.5	64.6
4	英語の勉強は好きですか。	74.3	69.3	68.9

▲全国を3ポイント以上下回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	自分には、よいところがあると思いますか。	80.4	83.5	83.4
2	将来の夢や目標を持っていますか。	77.6	81.5	80.4
3	読書は好きですか。	68.6	71.8	75.0
4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	73.7	77.4	80.0
5	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。	76.0	81.9	81.9
6	算数の授業の内容はよく分かりますか。	78.1	81.2	81.1

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値（宇佐市・全国・大分県）
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾等含む）	2時間以上17.7% （全国25.6% 県23.0%）
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。	30分以上32.6% （全国37.3% 県37.9%）

【中学校 生徒質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	80.7	77.6	78.6
2	読書は好きですか。	71.0	66.0	66.7
3	1, 2年生の時に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	72.9	69.1	70.6
4	1, 2年生の時に受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか。	78.4	74.9	77.9
5	国語の勉強は好きですか。	65.1	61.4	62.0
6	国語の勉強で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか。	69.1	65.9	66.1
7	国語の文章で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか。	80.3	77.2	76.7
8	数学の勉強は大切だと思いますか。	88.9	85.0	85.8
9	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか。	88.1	82.8	84.3
10	1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか。	85.5	80.7	81.7
11	1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか。	85.3	79.3	81.6

▲全国を3ポイント以上下回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	自分には、よいところがあると思いますか。	76.7	80.0	78.8
2	1, 2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	58.0	62.1	54.7
3	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	75.8	79.7	79.5
4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	62.7	69.2	67.4
5	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	66.5	72.6	71.0
6	数学の授業の内容はよく分かりますか。	67.7	73.3	69.6
7	英語の授業の内容はよく分かりますか。	60.8	63.9	61.9
8	1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。	73.1	78.7	76.2

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値（宇佐市・全国・大分県）
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾等含む）	2時間以上27.1% （全国33.7% 県38.0%）
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。（塾等含む）	2時間以上45.7% （全国40.0% 県56.7%）

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要（肯定的回答が特に多かった項目…○ 少なかった項目…△）

小・中学校：学校質問紙

- 将来就きたい仕事や夢について考えさせて指導している。
- 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマが設定されている。
- 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行っている。
- 教育課程表（全体計画や年間指導計画）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している。
- 児童生徒の姿や地域の現状に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成、実施、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。
- 指導計画の作成に当たっては、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている。
- 言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいる。
- 授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている。
- 児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している。
- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の工夫改善をしている。
- 児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業で活用している。
- 自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業で使用している。
- 児童生徒がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業で使用している。
- △ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化（クラウドサービスを活用した保護者への連絡やアンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等）に取り組んでいる。

学校質問紙調査の結果をふまえて（今後の課題）

- ◇各学校において、学校教育目標達成に向けて学力や生活についての課題を共有し、組織的な取組が行われている。今後も校長のリーダーシップのもと、教育課程の編成・実施・評価・改善を図っていく。
- ◇授業研究等や事例研究など、実践的な研修が行われている。今後も宇佐市小中学校授業の流れシートを活用した授業展開の推進を図っていく。
- ◇ICTを活用した校務の効率化を推進していくために、クラウドサービスも含めた好事例の周知等に取り組んでいく。